

その他のルール

●公開について

カードの効果で「～公開する」といった記述があります。これは、全プレイヤーに対して、指定されたカードを見せる、という意味です。見せたそのカードは、特に指定がなければ元々あった場所に戻します（手札であれば手札、デッキであればデッキ）。

デッキのカードを公開する途中でデッキがなくなり公開できない場合、カードを引くときと同様に捨て札置き場のカードをシャッフルして新たなデッキを用意し、公開してください。

●使用中のアクションカードについて

デッキがなくなり引けないう場合、捨て札のカードがデッキに戻りますが、アクションカードなどの効果により、その途中でデッキが引けなくなることもあります。

その場合、捨て札のカードのみをデッキに戻してください。アクションフェイズに使用したアクションカード全ては、甲板に置いたままにしておき、終了フェイズに捨て札になります。アクションフェイズ中に捨て札になることはありません。

●複数のプレイヤーに対する処理について

カードの効果で、他のプレイヤーに対しての効果が同時に発揮されることがあります。その場合、効果を使用したプレイヤーの左隣のプレイヤーから順に処理を行なってください。

クエストの効果が発揮されて処理を行なうときも似ていて、ターンプレイヤーから、時計回りの順で行なっていきます。

●【攻撃】と【対応】について

カードの効果で、【攻撃】と記されているものがあります。これは、他のプレイヤーに対してなんらかの危害を加えるものです。使用したら、他のプレイヤーはその処理に従ってください。

ただし、【対応】と記されたカードを持っている場合、【攻撃】に対してカウンターを行なえます。【対応】のカード1枚を公開して（使用ではないので食料も必要ありません）、記された効果を発揮してください。この【対応】するかどうかの確認もターンプレイヤーから時計回りの順で行なってください。

※手札に複数枚の【対応】のカードがあっても、1枚の【攻撃】に対しては1枚の【対応】しか公開できません。

●カードの効果の優先順位

ルールとカードの効果が矛盾することがあります。その場合、必ずカードの効果が優先されます。

用語説明

・移動

クエストに配置しているコマを他のクエストに配置し直すことです。

・奪う

場からではなく、他のプレイヤーから資材チップを自分の船倉に置くことです。

・得る

場から資材チップを自分の船倉に置くことです。

・購入

購入フェイズにおいて、合計コインを消費して場のカードを獲得することです。

・獲得

得たカードを捨て札に置くことです。購入したカードを獲得することもあれば、カードやクエストの効果によって獲得することもあります。

・合計コイン

甲板に置いた（使用した）カードの持っているコインを全て足したものです。

・【攻撃】

テキストフレームが赤くなっているアクションカードの効果です。他のプレイヤーを妨害する効果が発揮されます。

・【対応】

テキストフレームが青くなっているアクションカードの効果です。他のプレイヤーのターンで、【攻撃】を使用されるときに割り込んで効果を発揮できます。

・最大配置プレイヤー

そのクエストに最も多くのコマを置いているプレイヤーのことです。最も多くコマを置いているプレイヤーが複数いる場合、その全てのプレイヤーが最大配置プレイヤーとなります。

・捨て札

捨て札置き場に置かれた、使用済みのカードです。

・手札

自分が使用できる手に持っているカードです。

・ドロウ

自分のデッキの一番上からカードを引くことです。

・場

島、資材チップ、購入できるカードの山札が置かれている場所です。

・他のプレイヤー

自分以外の全てのプレイヤーです。

島の紹介

● 始まりの冒険島 (難易度: ★)

最も基本的な島です。資材チップを得る《酒場》《銀行》《貴族の館》、ドロウが可能な《雑貨屋》《市場》とわかりやすいクエストで構成されています。特に②を得られる《貴族の館》が重要なので、そこをどう利用するかが勝負の分かれ目になります。



● 緑深き幻想島 (難易度: ★★)

ゲームに慣れた人向けのステップアップの島です。デッキをスムーズにする圧縮戦法が狙える《礼拝堂》、コスト以下のアクションカード1枚を獲得できる《小人の森》、最大配置プレイヤーとその次のプレイヤーのみが恩恵を得られる《王室》という変則的なクエストが追加されています。それぞれをうまく利用することで、デッキの戦略をさらに幅広いものにできます。



● 誉れ高き巨人島 (難易度: ★★★)

最大配置を取り合う変則的な島です。クエストの半分が最大配置プレイヤーに恩恵を与えるもので構成されています。クエストクリアの条件も高いのですが、その恩恵はとても大きく、これをどう制するかがポイントとなります。特に最大配置をしてクリアすると⑥を得られる《巨人の王室》は取り合いになることでしょう。



● 試練連なる英雄島 (難易度: ★★★★★)

コマを配置し続けることを利用する難易度の高い島です。コマを配置している間、自分が有利になったり、相手の妨害ができたりします。自分のコマをどう配置し続けられるか、それがポイントです。逆にいうと、他のプレイヤーをわざとクリアさせることで、相手の邪魔をできたりします。利益と不利益を常に天秤にかけ、コマを配置する必要があります。



● 成り上がりの海賊島 (難易度: ★★★★★)

特殊ルールのある島です。

【階級制度】

それぞれプレイヤーの階級をあらわすカウンターがボードの左側にあります。これを「階級カウンター」と呼びます。ゲームの準備時、階級カウンターの《見習い》にそれぞれのプレイヤーはコマ1個を配置します。最初は《見習い》から始まり、クエストをクリアすることで1つ上の階級に上がります(他のプレイヤーが配置したことによってクリアしても上がります)。《見習い》→《甲板長》→《副船長》→《船長》の順で強い恩恵を得られます(《船長》でクリアすると《見習い》に戻る)。

“階級”という要素を加えた特別ボードです。それぞれのプレイヤーはクエストをクリアすることで船内の信頼を集め、階級を上げていきます。《船長》は特に強い特権を得られるので、それを目指して効率よくクエストをクリアしていきましょう。でも、《船長》でクエストをクリアすると部下からの反乱にあっってしまう、《見習い》に格下げされてしまうので、注意が必要です。



● 実りある飽食島 (難易度: ★★★★★)

特殊ルールのある島です。

【暴飲暴食】

各プレイヤーは自分の開始フェイズに必ず①を得ます。

【食料の資材チップによる減点】

ゲームが終了し得点計算を行なうとき、食料の資材チップの値だけ合計 VP をマイナスします。

常に①がたまる島です。その分、《船員》のアクションカードが使いやすくなります。また、すべてのクエストでもクリアすれば①を得ることができます。ただし、食料の資材チップをためすぎても最終的には減点されてしまうので、適度に集めて適度に消費していくというバランスが求められる島です。



● 無邪気な怪獣島 (1~2人専用ボード)

特殊ルールのある島です。この島ではプレイヤーと怪獣が戦うことになります。勝利条件を満たせばプレイヤー側の勝利(2人いればその両方も)、敗北条件を満たせば怪獣の勝利となります。

【ゲームの準備】

基本セットは2人用のものを用意。ただし、ランダムなアクションカード8種はすべてまとめてシャッフルしてそのうち上から40枚置き(残りは箱に戻す)、これを「場デッキ」と呼びます。場デッキから、4枚をその横に1枚ずつ並べてください。これ